

谷山地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成24年5月14日(月)19:00~20:00

場所:谷山市民会館

※ 平成24年度 第1回目

平成24年5月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年5月14日(月)19:00～20:00
場所：谷山市民会館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	谷山商店街 通り会連合会 男性	① 昨年、慈眼寺通り会では、鹿児島国際大学や南高校と連携してイベントを実施し、市からの補助金をいただいて周辺の方々に大変好評だった。 商店街の連合会や単独の通り会で事業やイベントを実施する場合、どのような補助が受けられるのか。また、今年から始まった新制度があれば教えてほしい。	① 昨年12月に慈眼寺通り会が実施した「おもてなしフェア」に、本市もその費用の一部を助成しておりますが、こういった高校生や大学生と協力してまちづくりを進めていくということは、大変意義のあることだと思っています。 この「おもてなしフェア」を支援しました「頑張る商店街支援事業」は、今年度も引き続き実施していますので、是非、独自のアイデアや工夫を凝らした企画をしていただければと思います。担当課が、商店街や通り会の活性化を図るための様々な補助金についてまとめた冊子をお配りしていますので、是非、ご活用いただければと考えております。	経済局	※市長回答のとおり なお、施策案内の冊子は各商店街へ配布済みです。
2	かごしま市商 工会青年部 谷山支部 男性	② 子育て支援について、鹿児島市は他の市町村に比べて充実している面も多くあるが、予算の制約等で真っ先に影響を受けるのは補助の部分ではないかと現場で感じている。子を持つ家庭に対する援助・補助はあるが、機関や施設などの現場に対する補助等を今後どのように充実していくのか。 また、幼児教育について、保育と教育の棲み分けの仕方や、こども園といった考えも出てきているようだが、市として子育て支援の充実をどのような形で図っていくのか。	② 少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加などで子どもを取り巻く環境は大きく変わってきている中で、子育ては、まずは親が責任を持って行うことが大切だと思いますが、一方では子育てに対して不安感や負担感を感じている親御さんたちも多く、そういったことを軽減するため、行政による子育て支援は重要だと思っています。 本市では、子育て支援施策としてハード・ソフト両面から事業を展開しており、ハード面においては、与次郎ヶ浜に“すこやか子育て交流館(りぼんかん)”という子育て支援の拠点施設を設置したほか、今年は、南部地域において県農業試験場跡地に親子つどいの広場と保健センターを合築した施設の建設に着手します。その中で、子育てに対する不安感等を軽減するような環境づくりができればと思います。 また、ソフト面では、保育園協会を通じて各保育園に運営補助等を行っていますし、幼稚園に対しても幼稚園協会を通じて色々な補助を行っています。共働き世帯の増加に伴い、保育園に入れない待機児童が増えているのが現状です。 これまで国においては、保育と教育という棲み分けをしてきましたが、それを一体化させた“こども園”、そういった対応が図られようとしています。保育園や幼稚園のそれぞれの立場でご意見もあろうかと思いますが、小学校に入るまでの教育や保育をどうするかという観点からの課題解決に向けた取組を進めていかなければならないと考えています。 本市においても、待機児童をなくすことが大きな目的ですので、保育や幼稚園教育との棲み分けをしながら、お互いに連携をさせた取組を進めていければと思っています。	健康福祉局	※市長回答のとおり
		③ 青年部では、地域の活性化には子どもの力も大事だと考えている。中学・高校などから依頼のある職場体験を率先して受け入れようといった意見も出ているのだが、このような子どもとの関わり等の取組に対して、援助や助成を期待したい。	③ 商工会青年部として、学校教育へのアプローチをというお話がありましたが、そういった取組というのは大変大切だと思っています。生徒が社会に入る前の助走期間として、そのような社会体験をさせるということは、成長のための大きなステップになると思いますので、是非、積極的に取り組んでいただければと思います。	教育委員会	本市におきましては、学校、地域社会、経済産業界との連携のもと、児童生徒の発達段階に応じた職場体験学習を行っております。職場体験学習は中学・高校生の勤労観・職業観を育成する上で教育効果の高い活動であるとともに、地域の理解や担い手育成という観点からの効果も期待できることから、受入を積極的に進めていただけることは大変ありがたいことだと考えております。 ご協力いただいている企業等への助成制度はないところですが、今後とも、受け入れていただくに際しての連絡調整など、各面から協力したいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年5月14日(月)19:00～20:00

場所：谷山市民会館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	谷山地域女性団体連絡会 女性	④ 谷山福祉館を利用しているが、案内板が道路より中にあるので、入り口が分かりにくいという方が多い。	④ 早速、案内板を移動させるなり、対応するよう担当部局へ指示いたします。	健康福祉局	現在、2基の案内板を設置しておりますが、市長回答のとおり、よりわかりやすい案内ができる方法を検討し、対応してまいります。
		⑤ 団体として活動していく中で、案内文の作り方や、講師の選定について助言して欲しいと思っている。谷山市民会館の設置目的は、地域の団体を育てていくことではないのか。	⑤ 地域公民館は、地域の方々が活用して地域活動をするための拠点施設であり、活用される方々が利用しやすいように、そういった目的があると思っています。女性団体の方や、様々な団体が活用されていると思いますし、どういことをすればいいかという指導も、活動の中に含まれていると思いますので、担当部局である市民局や教育委員会に、私の方でしっかりと指導していきたいと思っています。 社会教育団体がたくさんありますが、所管課が連携・協力をしながら団体の育成や支援に努めていかなければならないと思います。 今後は、改修計画も進めていきますので、より多くの方々に谷山市民会館を使っていただき、また、活動しやすいような体制をしっかりと作っていきたくと思っています。	市民局 教育委員会	男女共同参画を推進するためには、女性団体の活動の活性化は不可欠であり、谷山地域女性団体連絡会に対しましても、引き続き支援・協力してまいりたいと考えております。 地域公民館は、地域の方々の生涯学習の拠点施設として、また生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として設置されています。地域公民館の役割や使命、社会教育関係団体との連携、支援のあり方等について、館長会等の場で再確認し、改善が図られるよう努めてまいります。
4	谷山北地域まちづくりワークショップ 男性	⑥ 広木駅ができて交通の便は良くなったが、星ヶ峯は陸路を通り抜ける道路がないので、宇宿中間地区からの区画整理道路を、上伊集院駅の上までできている3号バイパス道路まで延長して欲しい。3kmぐらいあると思うが、その区間は星ヶ峯の外周道路等を利用して繋げていただければ、谷山北部地域と本市の北部である郡山地域との交流が促進されるのではないかと。 長期的なビジョンになるかと思うが、谷山北部地区は交通網がまだ十分に発達していないという点を見てほしい。	⑥ 道路整備については、計画を立て、それぞれの地域の回遊性や地域間の連絡通路としての区間整備をしていかなければならないと思います。 お話のあった、星ヶ峯地域を通して3号バイパスへ繋ぐというのは、大きな道路の築造になりますので、財源的な問題や地域の皆さんの協力を得ながら、しっかりと全体計画を立てて進めていくべき、大きな事業になるかと思っています。 今、北部地域については、郡山、松元、皇徳寺を通してバイパスに乗って谷山の中心街に至る道路を築造中ですので、そのことも考慮しながら、どういった形でできるかということは、今後検討していく課題として受け止めていきたいと思っています。	建設局	第五次総合計画の中で谷山北部地区については、幹線道路の整備促進等により、地区内の通過交通の緩和を図るとともに、丘陵部住宅地と地区内を相互に結ぶネットワークの形成に努めることとしており、具体的には、県道小山田谷山線の整備を促進することとしております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年5月14日(月)19:00～20:00

場所：谷山市民会館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	谷山南地域 まちづくり ワークショップ 男性	⑦ 安心安全のまちづくりについて、谷山地区は歩道が狭く、通学する子どもたちにとって危険なところが多い。 また、高齢者が多いので、町内会の隣近所で声かけ運動を続けていきたい。社会福祉協議会の中心的な活動になっている。	⑦ 安心安全なまちづくりは、本市としても主要な取組のひとつであると考えています。特に、それぞれの地域で子どもたちを交通事故等から守る取組をどのように進めていくのか。また、本市の高齢化率は県内では低い方ですが、60万市民のうち12万人を超過高齢者の方々がいらっしゃいますし、今後もこの率は増えていきますので、高齢者にとって安心安全な取組をどういう形で進めていくべきかということも、大きな課題です。 お話のありました社会福祉協議会を含め、地域の福祉館、地域の安心安全に関するボランティア活動といった、多くの団体の皆さんがひとつになって推進会議を作り、それぞれの立場で使命感を持って取り組んでいただけることが大変重要ではなからうかと思ひまして、今年から地域コミュニティ協議会というものを試行的に進めております。 これを小学校の全校区で構築し、社会福祉協議会や校区公民館運営審議会、老人クラブ、あいご会、町内会の方々にそれぞれの立場で入っていただき、地域のまちづくりの中心となる組織になっていかなければと思ひています。	市民局	本市では、子どもたちを交通事故等から守るため、通学路の危険箇所への児童通学保護員の配置のほか、小学校、幼稚園、老人クラブなどが開催する交通安全教室、防犯教室に安心安全教育指導員を派遣しております。 また、高齢者を対象とした「高齢者安心安全の集い」などの啓発イベント等も実施しています。 今後、交通安全教室、防犯教室のさらなる利用促進を図るなど、交通安全意識、防犯意識の啓発を推進してまいりたいと考えております。 平成23年3月に策定した鹿児島市コミュニティビジョンに基づき、小学校区を単位とし、地域の課題を自ら発見・解決していくための取組を行う地域コミュニティ協議会の立ち上げを支援してまいります。 24年度からは3地域においてモデル的に同協議会の立ち上げを支援し、2～3年間の評価・検証を行った後、市内全域へ取組を拡大してまいります。
		⑧ 以前から、木之下川周辺では液状化現象を起こすのではないかとされており、私もハザードマップを見直すべきだと思ひていた。新しいマップが配布されたが、詳しい地質調査をしてほしい。	⑧ 東日本大震災の発生以来、全国的にそういう危機感が大きくなってきており、本市においても、これまでの防災対策等を改めていかなければならないと思ひています。 ハザードマップや津波対策を含め、新たな防災対策を進めていく必要がありますので、お話のありましたハザードマップの詳細な検証もしていかなければならないと思ひます。	市民局	鹿児島県が平成24～25年度に計画している「地震等災害被害予測調査事業」において、地震等に伴う自然災害の被害予測を行うこととされており、その中には地盤・地形及び液状化等に関する調査や液状化危険度の予測も含まれております。 県から予測結果等の情報提供を受けるとともに、ハザードマップの作成など市民向けの広報について検討してまいります。
		⑨ 絆や結び、地域は協働という作業に結びつくと思う。そのことを地域の中心に考えて活動を行っている。 自分たちで地域マップを作ったが、活用策まで考えて作成する必要があると感じている。	⑨ 本市の今後10年間のまちづくりの指針となる第五次総合計画を、24年度からスタートさせましたが、その基本理念というのが協働という観点です。 東日本大震災の後、改めて多くの皆さんが、人と人との連携の大切さを再認識されたと思ひますので、それぞれの団体と協力しながら地域づくりを進めていければと思ひます。	市民局	※市長回答のとおり
		⑩ 子育て支援をしていて、ボランティアはたくさんいて賑やかだが、子どもの数が減ってきた。遊ばせるということがどのような意味を持っているのか、今後の課題として考えていきたい。	⑩ 子育て支援の拠点施設は整備してまいりますが、そこをどのように活用していくかも大切な視点だと思ひます。 子どもたちを遊ばせる意味や意義といったこと、子育てにおいてどういった視点で対応すればいいかということも、その施設の中で色々と研究していただくようなソフト事業にも取り組む必要があると思ひます。 今後、南部地域にも「親子つどいの広場」を建設しますので、そういった中で対応できればと考えています。	健康福祉局	※市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年5月14日(月)19:00～20:00

場所：谷山市民会館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	谷山南地域 まちづくり ワークショップ 男性	⑪ 木之下川は草が生い茂るので、毎年、夏にクリーン作戦をしているが、木之下橋から鉄橋のところまでの区間は草が繁茂していて川の流れが悪くなり、自分たちではどうにもならない。市の方で何とかしていただけないか。	⑪ 木之下川をはじめ本市には多くの河川があり、災害対策や生態系の保全を図りながら、改修をしていかなければならないと思います。 お話のあったことについては、色々な関係団体がありますので、十分協議をしながら除草作業を進めていく必要があるかと思えます。	建設局	木之下川の管理者である県に対し、河川周辺の除草等を依頼しました。
7	谷山商店街 通り会連合会 男性	⑫ 谷山地域の通り会は、どこも空き店舗が増えている。通り会の空き店舗に入居する際に家賃の補助があったと思うが、その制度は今でもあるのか。無いのであれば、今後復活する予定があるか。連合会としても、若い人たちと交渉しながら、まちを活性化したいと考えている。	⑫ お話のありました、商店街に対する家賃補助は、平成16年度から18年度に活用された「財団法人かごしま産業支援センター」からの助成ではないかと思えますが、現在は行っていません。 本市においては、商店街の賑わい創出や活性化に繋がる事業を実施する場合に、空き店舗の借上料を含む必要経費を助成する「頑張る商店街支援事業」を行っていますので、ご活用いただければと思います。 特に、南部地域においては大型商業施設が進出しておりますので、商店街・通り会にも多大な影響があるかと思えます。しかし、地域に根ざした商店街・通り会は地域の財産だと私は思っています。地域力こそが鹿児島の元気の源ですので、皆様方が創意工夫を凝らしながら頑張っていただければ、地域の活性化や賑わいの創出に繋がっていくと思えます。	経済局	※市長回答のとおり
8	谷山南地域 まちづくり ワークショップ 男性	⑬ 近年のグラウンドゴルフブームで、谷山緑地に遠方から自家用車で来られる方が増え、駐車場のことで市民会館の利用者と競合している。市民会館の駐車場は利用者が優先ということだが、改修後は駐車場確保が一層困難になるのではないかと思っている。そこで、和田川下流の松林寺橋と新地橋の間に地域包括支援センター谷山の駐車場があるが、その付近からグリーンベルトにかけて人道橋を架設し、グリーンベルト側にも駐車スペースを確保すればいいのではないか。 また、谷山中心部の高齢者が日常の買物をする際にも、人道橋を利用すれば遠回りをせずに済むので、その面からも利点があるのではないか。県の河川なので県との関係もあるかと思うが、ご検討いただきたい。	⑬ 谷山市民会館を改修することで利用者の増加が見込まれますので、駐車場対策も重要な課題になってまいりますし、この地域にそういった施設を整備できるような用地があれば、考えていかなければならないことだと思います。 今、人道橋等についてご提案がありましたが、県や関係団体と色々と調整や検討をしていかなければならない課題だと思えますので、グラウンドゴルフを楽しむ方々と市民会館を利用される方々、地域の高齢者の方々の利便性に資するかということは、総合的に考えていかなければならないと思えます。 お話いただいたことについては、担当部局で検討させてみたいと思えますが、前向きに取り組めるのか、あるいはどういった課題があるか、今後の推移を見守っていただければと思います。	市民局 建設局 教育委員会	谷山市民会館は、現在、館の改修に取り組んでいるところですが、駐車場につきましては、改修後におきましても、これまで以上に公共交通機関の利用を呼びかけるなど、対応してまいりたいと考えております。 なお、谷山緑地を利用される方の駐車場確保につきましては、管理者である県にお伝えします。 また、人道橋につきましては、さまざまな課題がございますが、貴重なご意見として承りたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年5月14日(月)19:00～20:00

場所：谷山市民会館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	谷山商店街通り会連合会 男性	⑭ 谷山ふるさと祭への市の補助は、平成13年度から320万円と聞いているが、各通り会が賛助金を集めるのに大変苦労している。おはら祭に比べても少ないように思うのだが、増額してもらえないか。	⑭ 谷山ふるさと祭には、私も毎回参加させていただいていますし、皆様方のご協力で一大イベントとして谷山地域の活性化に繋がっていると思っています。昭和55年におはら祭の一環として始められ、地域住民の協力のもとでこうして発展を続けてきていますので、大変大きな役割を担ってきたお祭ではないかと思えます。 補助金の増額についてお話がありましたが、市税収入や国からの補助金・負担金の減少などで本市の財政環境は非常に厳しいのが現状ですので、直接補助をする以外に、市としてどういった対応が出来るか検討していくことで、皆様のご協力をいただければと思っています。	経済局	※市長回答のとおり なお、例年どおり花電車を運行し、谷山ふるさと祭当日には花電車を谷山電停に留置するとともに、ヤング踊り連を派遣し祭りを盛り上げます。 また、今年度からおはら祭PRチラシで谷山ふるさと祭の実施日時を掲載してPRを図ります。
10	谷山南地域まちづくりワークショップ 男性	⑮ JR九州の観光列車「いぶたま」を(谷山にも)停まるようにできないか。	⑮ 私も、谷山駅や慈眼寺駅等に停めてほしいという要望をJR九州にしましたが、「いぶたま号は目的を持った列車であり、通勤列車ではない。」という回答でした。 鹿児島市内の各駅から乗りたいという方もいるのではないかという話もしましたところ、鹿児島中央駅から指宿へ観光客を運ぶのがこの観光列車の目的だということで、思いを聞き届けてもらえないのが現状ですが、今後も機会を捉えて要望していければと思います。	企画財政局	観光特急「指宿のたまて箱」の谷山駅への停車につきましては、沿線自治体等で構成する鹿児島県鉄道整備促進協議会や指宿枕崎線輸送強化促進期成会を通じて、今後ともJR九州に要望してまいります。
11	谷山商店街通り会連合会 男性	⑯ 商店街の街路灯の土地占有料は看板設置に係る分だと聞いているが、安心安全な街づくりに大きく貢献しており、道路占有料を免除してもらえないか。	⑯ 街路灯の道路占有料については、100%減免になっていますので、お支払いいただいているのは広告物に係る分ではないかと思えます。 これについても、一部は減免していると思えますので、お支払いいただいている金額の詳細については担当部局から説明をさせたいと思います。	建設局	当該道路占有料は、市長回答のとおり、街路灯に添加されている広告物に対するもので、鹿児島市道路占有料条例及び鹿児島市道路占有料減免取扱要綱に基づき75%の減額となっております。
12	谷山北地域まちづくりワークショップ 女性	⑰ 谷山支所を訪れた時に、1階のフロアマネージャーの方に大変お世話になった。谷山支所はとても広く、特にお年寄りにとっては有難い存在ですので、今後も常駐して案内していただけると大変助かる。 ⑱ 春の桜がきれいな頃に慈眼寺公園に行ったら展望台に上ったら、木が生い茂ってせっかくの景色が見えなかったの、伐採してほしい。	⑰ 繁忙期にご案内を差し上げたのではないかと思います。初めてお越しになれる方やお待ちの方への対応は、しっかりやっていきたいと思えます。 ⑱ 慈眼寺公園の自然は、谷山地域の中で残された大変貴重な財産だと思っています。 お話のあった展望台周辺の樹木につきましては、自然体系のあり方等について、どういった観点で残しているかということも含めて調査し、対応を検討してみたいと思います。	市民局 建設局	平成22年度からフロアマネージャーを1名配置し、わかりやすい案内を実施してきたところですが、今後も繁忙期等の対策も含め、案内の充実に努めてまいります。 慈眼寺公園は、園内に文化財を有する、豊かな緑の残る貴重な財産であることから、既存の自然環境に手を加えず、あるがままの自然の姿を大切にすると観念から維持管理に努めております。 しかしながら、展望台周辺を調査したところ、樹木が生い茂り、眺望を阻害している箇所が見受けられたことから、樹木の生育に影響のない範囲で剪定等を実施してまいります。